

## 小城市人権・同和問題講演会 真の笑いは 平等な心から

**講師** 桂 文福さん 落語家（上方落語協会理事）

**とき** 8月18日（水） 13：00開場 13：30開演

**ところ** 小城市生涯学習センター  
「ドゥイング三日月」

**【問合せ】** 市民課 人権・同和对策室  
担当 金丸・野口 ☎73-8800

入場料は  
無料です

応援出演（文福一座より）  
千田 やすしさん  
「腹話術」



### 8月は同和問題 啓発強調月間

（人権・同和問題の正しい理解と認識を）

自分では、差別と思っていない

なくとも、あなたの何気ないことばが、相手のところを傷つけていることがあるかも知れません。

小城家では、桜ちゃんがお父さんに質問しています。

お父さん

桜ちゃん



お父さん、同和問題って、どんな問題なの？

人は、自分の意思で生

まれてくるところを選ぶことができないよね。なかでも同じ日本人でありながら、被差別部落の出身という理由で、就職や結婚などいわれるのない差別を受け、基本的人権を侵害されている人たちがいるという社会問題があるんだ。そういった社会問題を「同和問題」というんだよ。

なぜ、いつまでもなくならないの？

法律によって、身分差別は、制度上なくなり、環境改善も行われたけれど、

人々のところの中にある差別意識や偏見は、かんたんには無くならないで、今でも解決できていないんだ。

じゃあ、差別をなくするにはどうしたらいいの？

みんなの心の中に隠れている差別意識をなくし、同和問題を解決するためには、市役所などの政策だけでは、難しいんだよ。

私たち一人ひとりが、同和問題について正しく理解し、自分には関係ないことと無関心でいるのではなく、身近な問題としてとらえ、お互いの人権を尊重しあうことが大切なんだよ。そのために大切なことは、誰がどこに住もうと、

誰にも差別されず、誰もが「生まれてきてよかった。」と生きる喜びを味わえる社会をつくらなければいけないんだよ。

そうなんだ。私もこれから勉強していくね！

8月は、同和問題啓発強調月間です。同和問題をはじめ、すべての人権問題も、知識として知っているだけでは解決しません。日常生活の中で、差別や暴力など、人権上問題のある出来事に接したとき、疑問に思い、そして「おかしい」と勇気を持って、みなさんと、差別がなくなるよう行動しましょう。

